

えびな名店・名産品 事業者エントリーを 受け付け

問商工課 ☎(235)8439

「えびな名店・名産品」を選定する第3弾です。市内で操業する店舗の中から「名店」を、市内で生産される品物の中から「名産品」を選定するため、事業者の皆さんからのエントリーを受け付けます。

部門①名店(飲食業、小売業)②名産品(加工品、工芸品・工業製品(部品含む))※一次産品を除く

①市内で1年以上操業している店舗(チェーン店を除く)②市内で加工、製造され、販売から1年以上の製品申必要書類に記入の上、直接または郵送で商工課へ(自薦のみの受け付け)。書類は同課で配布または市ホームページからダウンロード可。8月31日(金)締め切り

えびな名店・名産品は 13店舗・11品

第1弾・第2弾で選定された名店・名産品の詳細は、市ホームページに掲載しています。また、第1弾の10店舗・10品を掲載した「名店・名産品ガイドブック」は商工課や市内公共施設などで配布しています。



名店・名産品掲載ページ

70歳以上の方、高額療養費の 自己負担限度額が変わります

問国保医療課 [国民健康保険] ☎(235)4594
[後期高齢者医療保険] ☎(235)4595

高額療養費とは、適用区分により同一月にかかった医療費が自己負担限度額を超えた場合、超えた額が後で払い戻される制度です。

8月から、70歳以上の方が加入する国民健康保険および後期高齢者医療保険の自己負担限度額が改正されます(左表)。詳細は、国保医療課へお問い合わせください。

自己負担限度額(月額)

■7月診療分まで

	適用区分	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯ごと)
現役並み	課税所得 145万円以上の方	57,600円	80,100円 + (医療費-267,000円) × 1% <多数回44,400円> ※2
	一般 課税所得 145万円未満の方※1	14,000円 (年間上限 144,000円)	57,600円 <多数回44,400円> ※2
住民税非課税	Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入 80万円以下など)		15,000円

■8月診療分から

	適用区分	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯ごと)
現役並み	Ⅲ 課税所得 690万円以上の方	18,000円 (年間上限 144,000円)	252,600円 + (医療費-842,000円) × 1% <多数回140,100円> ※2
	Ⅱ 課税所得 380万円以上の方		167,400円 + (医療費-558,000円) × 1% <多数回93,000円> ※2
	Ⅰ 課税所得 145万円以上の方		80,100円 + (医療費-267,000円) × 1% <多数回44,400円> ※2
一般	課税所得 145万円未満の方※1	8,000円	57,600円 <多数回44,400円> ※2
	住民税非課税		24,600円
住民税非課税	Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	15,000円
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入 80万円以下など)		

※1 世帯収入の合計額が520万円未満(1人世帯の場合は383万円未満)の場合、
「旧ただし書所得」の合計額が210万円以下の場合も含まれます。
※2 過去12カ月以内に3回以上、限度額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、限度額が下がります。

「限度額適用認定証」の 交付対象が拡大

「限度額適用認定証」などを医療機関に提示すると窓口で支払う医療費が自己負担限度額になります。「住民税非課税」世帯に加え、「現役並みⅠ・Ⅱ」が新たに交付対象となりました。交付には申請が必要で、条件があります。



EBI-LOG エビ・ログ

こんなことがありました

国分コミセン リニューアルオープン

約1年の大規模改修工事を経てリニューアルした国分コミセン。防犯カメラの設置や空調機器の更新などで、より安全・快適な施設へと生まれ変わりました。



消防団可搬ポンプ取り扱い訓練 およびポンプ車性能検査

消防署南分署訓練場で消防団員116人が参加し、消防団可搬ポンプの点検整備と放水訓練を実施しました。併せて、消防団ポンプ車の性能検査も行いました。



親子ナイトウォークラリー

親子206組689人が夕暮れの海老名を歩きました。交差点を簡略化して図にしたコマ地図を確認しながら、それぞれのコースを進み、道中のクイズに答えるなど、七夕の夜を楽しむ姿が見られました。



撮影場所



「椿地蔵」バス停付近から東方面を撮影



昭和32(1957)~34(1959)年頃
「海老名町の史跡めぐり」より



第4回 天然 記念物

椿地蔵のツバキ

こんもりと緑豊かな一角が当時の椿地蔵。ツバキの樹齢は約300年。江戸時代、この近くに住む御典医をある親子が江戸から訪ねてくる途中、病の娘がこの辺りで亡くなってしまった。村人は弔いのため地蔵堂を建て花を供えた。その中の一枝が根付き、娘の心が宿ったと伝わる。そのいわれは、色付いた蕾の状態から咲かずに落ちてしまうことから、平成10年8月、市の天然記念物に指定。

椿地蔵前の砂利道は拡幅・舗装前の貴重な風景だ。杉久保地区は起伏が多く、当時は大雨で悪路になると、住民たちは自らの庭先という思いで修復し守っていた。

現在



「駅」「史跡」「公園」「暮らし」などから、海老名の「あの時」「あの場所」を写真でつづります。